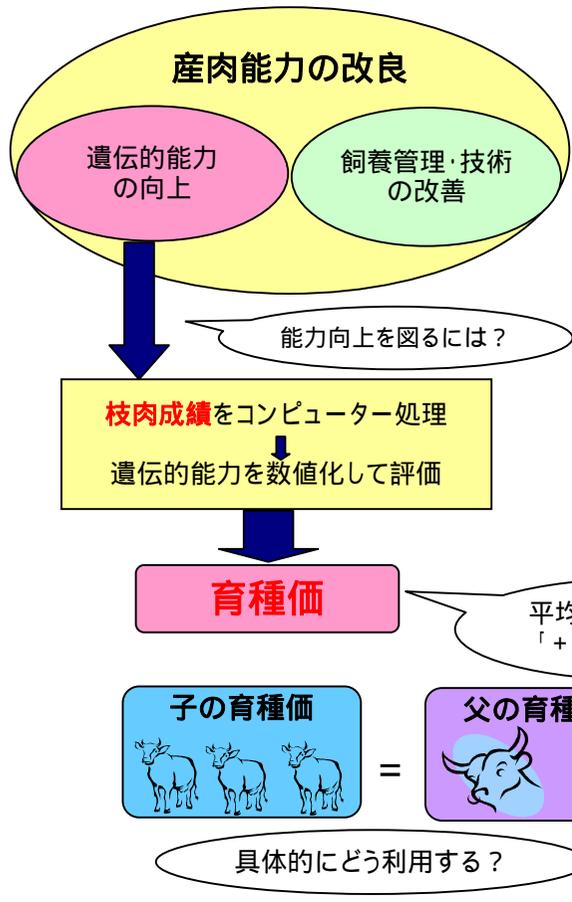


育種価とは？



遺伝的能力評価の意義は？

和牛産地としての基盤を強化には産地全体の牛群改良が必要です。

牛群の改良とは遺伝的能力を上げることです。
子牛は成長する中で飼養環境の影響を受け、枝肉として出荷されます。
環境の影響を除いた遺伝的能力そのものを指標にしたほうが改良には良いのです。

牛群全体の遺伝的能力の向上を図り、生産性を高めるには...
牛1頭、1頭的能力評価が不可欠です。

遺伝的能力評価をするには...？

産肉成績をコンピュータで処理 ... 環境など他の影響を排除するためです。
数字で表して評価
これが **育種価** です。(言ってみれば牛の通信簿)

育種価は各項目*ごとに県内和牛の平均と比べどれだけ優れているか、劣っているかを示します。
*枝肉重量、BMS(いわゆる霜降りの入り具合)、ロース芯面積など

平均をゼロ「0」とした「+」「-」で表します

育種価は子に遺伝する能力です。父母牛より2分の1ずつ伝えられます



産肉成績の解析
↓
種雄牛、繁殖雌牛の育種価が判明
↓
産子の能力を推定

繁殖雌牛の選抜・淘汰への利用

産肉成績の少ない若雄牛や繁殖雌牛の評価に威力を発揮します。
これまで雌牛の評価は血統と外貌形質によって行われてきましたが、育種価を用いることで精度が上がります。

計画交配への利用

能力の数値化で簡単に牛のタイプが分かり、短所を補う種雄牛を選ぶなど計画的な交配がしやすくなります。

肥育への利用

産肉能力を従来より高い精度で推定できます。
能力の高い牛は手間をかけ高く販売したり、低い牛は肥育期間を短くしコストを下げるなど計画的な生産が出来ます。